

調べてみよう！ 家庭のゴミ

1 概要

リサイクルの基本は排出時の分別です。自分の町の分別方法について授業で学習します。

家庭学習として各家庭で徹底した分別とその測量を行い、1人1日当たりの廃棄物の量を計算し、家族で廃棄物の分別について話し合います。

2 ねらい

- ・ 廃棄物や分別について知識を深めます。
- ・ 家庭学習で、ゴミ当番として各自家庭から出る廃棄物を分析することにより、ゴミを出さない「リデュース」や分別について理解を深め、環境配慮意識の育成を図ります。

3 方法

(1) 環境、リサイクルについて授業で勉強し、意見交換を行います。

(2) 市町村の分別方法を学習します。

市役所・役場の住民課などにある「ゴミ分別カレンダー」等により、自分の自治体の分別方法について学習します。

(3) 分別方法に従い、徹底した分別を行います。(家庭学習)

(4) 分別した廃棄物の重量を体重計やはかりを用いて計測します。(家庭学習)

(5) 家族の人数でゴミの重量を割り、1人当たりの廃棄物量を計算します。(家庭学習)

(6) 全国平均値と比べ、家族でゴミについて話し合います。(家庭学習)

(7) 話した結果、感想などについてレポートを提出します。

参考資料

自治体により分別数に違いがあります。

分別数例 : 和歌山市6 橋本市11 海南市5 有田市7 御坊市5 田辺市11
新宮市22 (161ページ参照)

テスト(後添)回答

問題1 問題2 問題3 問題4 問題5 問題6 問題7 問題8

授業用資料

家庭や会社から、ゴミは毎日大量に出されています。出されたゴミは、燃やされたり埋められたりして、消えてなくなってしまったかのように思われます。

でも、家や街で見えなくなったから・・・それでいいのでしょうか？

ちょっと考えてみてください。

ゴミが家の中から消えてなくなる一方で、私たちのまわりから、ものを作るために必要な資源や美しい自然が消えているかもしれないのです。

資源から商品ができて、やがてゴミとして捨てられるだけでは、ゴミは増えるばかりです。

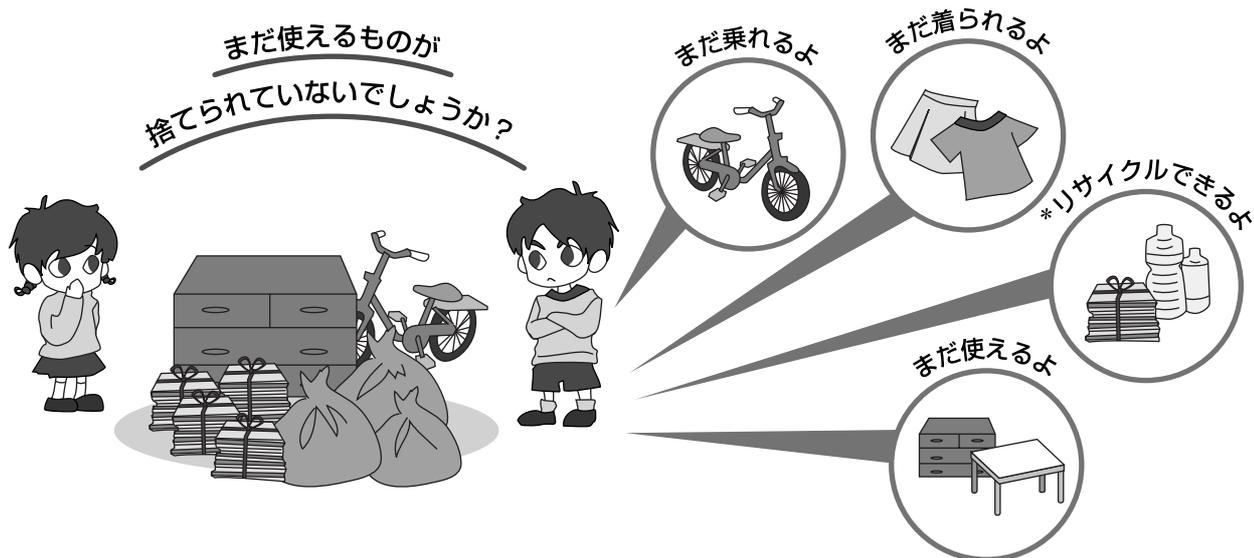
私たちの住んでいる地球の資源は無限にあるわけではありません。このかけがえのない地球の環境を守り、残していくために、ゴミの問題をどうすれば解決できるのか考えてみましょう。

ゴミって何だろう

使い終わったら「もういらない」「きたない」といって簡単に捨てられるゴミ。「ゴミ」といっても、その種類はいろいろあります。キッチンの生ゴミから、空きびん、まだまだ使える家具や衣服、自転車だって捨てるとただのゴミになってしまいます。

自分たちの家庭のゴミ箱や近所のゴミ置き場に、リサイクルできるものが捨てられていないか見てみましょう。

リサイクル・・・一度使われた紙やプラスチック、ビンなどを資源として繰り返し利用すること。



ゴミって本当にゴミ？

ゴミ置き場で、ちょっと修理すれば使えるおもちゃや家具などを見たことはありませんか。もしかしたら、あなたが出したゴミも同じように見られたかもしれません。ちょっと見方を変えると、ゴミだって宝物に見えてくれるかもしれません。

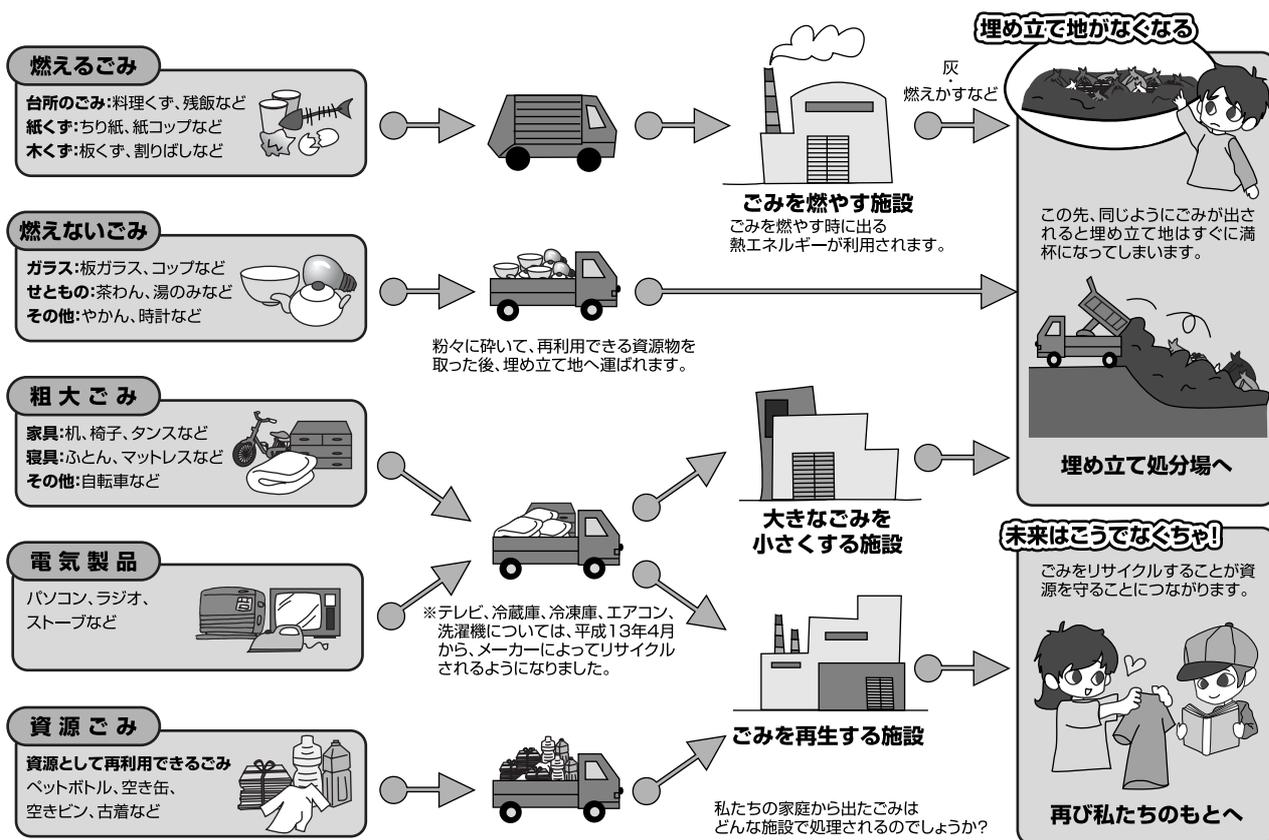


ゴミはどこへ行くの？

毎日大量に出されるゴミは、ゴミ収集車に積み込まれ、いろいろな処理施設に運ばれます。そして、資源として再利用されたり、熱エネルギーとして利用されたりしたあとは埋立地へと運ばれます。

ゴミにはたくさんの種類があります。それぞれにどんな処理のしかたがあるのでしょうか？

毎日、大量に出されるごみは、ごみ収集車に積み込まれ、各処理施設に運ばれます。そして、資源として再利用されたり、熱エネルギーとして利用された後は埋め立て地へと運ばれていきます。ごみには色々な種類があり、それぞれに処理の仕方が違います。



ゴミが増えるとどうなるの？

地球の資源がなくなります。

私たちの生活のもとになる資源には限りがあります。資源を大切にしておいて繰り返し利用していかないとやがてなくなってしまいます。

例えば、一年分の古新聞をゴミとして捨てると、太さ14cm高さ8mの木一本半を使うこととなります。

地球の環境が悪くなります。

ゴミを処理するためには、電気や石油などのエネルギーがたくさん必要です。このままゴミが増え続けると、エネルギーの消費がどんどん増え、資源の減少や地球温暖化が私たちの生活をおびやかしかねません。

また、ゴミを処理する施設の能力にも限度があります。ゴミを正しく処理できないと、街にゴミがあふれ出し、みんなの生活や生き物にも影響が出てきます。

そして、ゴミの埋立地もなくなります。和歌山県内で集められたゴミの78%は燃やされてから埋め立てられ、7%はそのまま埋め立てられています。県内で埋め立てられるゴミは1年で約8万t、東京ドームおよそ2杯分です。

ゴミを減らそう

私たちが普通に生活しているだけで、1人が一日に約1,100gのゴミを出しています。もしも、日本中の人
が、毎日たった10gのゴミを減らせば、一年間で約46万tものゴミが減る計算になります。

①使い捨て商品を見直そう

使用後はほとんど
ごみになってしま
います。



④使い古したものを他に使えないか

ダンボール箱は整理箱
や荷づくりに。



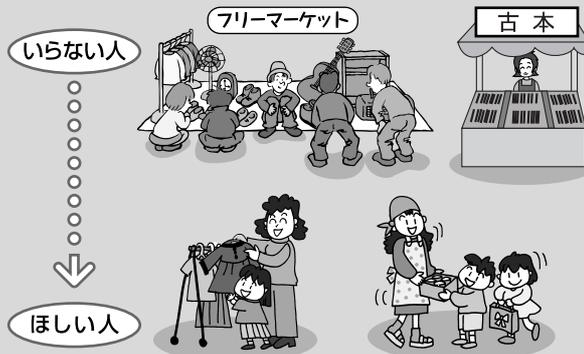
②紙製品は大切にしよう

雑巾やタオルなど
を使うことで紙の
使用が減ります。



⑤必要な人に譲りましょう

自分では使い道がなくても、必要な人には宝物に見えます。



③少しでも使えるものはごみでは ありません

ノートやえん筆、ペンな
どは最後まで使いましょ
う。自分なりに考えてみ
るのも楽しいものです。



買う前に考えて どんなことに気をつければいいのでしょうか？

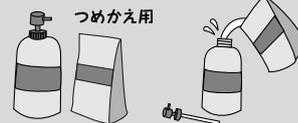
①本当に必要？

見た目の良さだけで、
必要のないものを買わ
ないようにしましょう。



⑤詰め替え商品を使おう！

シャンプーなどは
中身だけを入れか
えて容器はそのまま
使いましょう。



②他のもので代用できない？

代わりに使えるものが
あれば、新しく買わな
いようにしましょう。



⑥買い物袋は持参して

デパートの紙袋やスー
パーのポリ袋はごみを
増やす原因になります。



③まだまだ使えるはず

少し調子が悪くても、
修理すれば使えるもの
もあります。



⑦リサイクル商品を買う

ノートやトイレットペ
ーパーなどは、リサイ
クルされた商品を買
いましょう。



④流行に流されないで

飽きないか、壊れにく
いかなどを考えてから
買いましょう。



⑧簡単な包み方で

過剰包装はごみを増や
す原因になります。



テ ス ト

<問題1>

リサイクルによくないのは次のうちどれですか。
汚れを洗う。
キャップをはずす。
いろんなゴミを混ぜて出す。

<問題2>

家庭から出る1年分の古新聞は、太さ14cm高さ8mの木をどれくらい使うことになりますか。
150本
15本
1.5本

<問題3>

県内で埋め立てられるゴミは1年で約8万tあります。これは東京ドームのおよそ何杯分ですか。
5杯
2杯
0.5杯

<問題4>

アルミ缶をリサイクルすると、新しくアルミ缶をつくるよりも電気を節約することができます。アルミ缶1缶をリサイクルすると、40ワット電球をつける約何時間分節約できますか。
24時間
12時間
6時間

<問題5>

新聞紙や牛乳パックなどの紙は主にどんな製品にリサイクルされていますか。
紙幣
トイレットペーパー
プラスチック

<問題6>

古着は主にどんな製品にリサイクルされていますか。
紙幣
カーテン
雑巾(ウエス)

<問題7>

食用廃油は主にどんな製品にリサイクルされていますか。
石けん
ガラス
チョーク

<問題8>

ゴミは1人一日あたり、何グラム排出されていますか。
約11g
約110g
約1,100g

みんなで話し合ってみよう

リサイクルやゴミのことについてみんなで話し合ってみましょう。

- 1 家庭からどのようなゴミが出されるのでしょうか。
- 2 なぜゴミを分別する必要があるのでしょうか。
- 3 リサイクルされるものにはどんなものがありますか。
- 4 家庭でゴミを出さないようにするにはどうすればいいのでしょうか。
- 5 昔の生活は、今よりゴミが少なかったと言われます。今の生活は昔と比べてどう変わっていると思いますか。

調べてみよう！ 家庭のゴミ（家庭学習ワークシート）

番号	品目	重量	気づいた点等
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

<このワークシートの使い方>

自分の地域の分別品目を調べ、品目の欄に書き込みます。
 各家庭で品目毎にゴミを分別し、体重計等で重量を計測します。
 分別の際、気づいたこと、計量の際考えたこと等について、なにかあれば記載します。
 家族一人当たりのゴミ量等を計算します。

【計算方法】

1人1日あたりのゴミ量 = ゴミの総重量 ÷ 調べた日数 ÷ 家族の人数

- 家族で意見交換を行います。
- (1) 分別をした感想
 - (2) 面倒だった分別品目
 - (3) 簡単だった分別品目
 - (4) ゴミを減らすのにはどうしたらいいか
 - (5) 分別の意義は何か
 - (6) その他

